

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-105973(P2007-105973A)

【公開日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-016

【出願番号】特願2005-298507(P2005-298507)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

G 1 1 B 5/73 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/36

G 1 1 B 5/73

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月15日(2008.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 層のポリエステル層を有する積層フィルムであって、一方の表面を構成するポリエステル層 A の中心線平均表面粗さ $R_a A$ と、他方の表面を構成するポリエステル層 B の中心線平均表面粗さ $R_a B$ との比率 $R_a A / R_a B$ が $0.05 \sim 0.7$ であり、ポリエステル層 B の環状化合物の含有量が 0.8 重量%以下であり、かつポリエステル層 B とポリエステル層 A の固有粘度の差が 0.1 未満である積層ポリエステルフィルム。

【請求項 2】

ポリエステル層 A の環状化合物の含有量が 0.8 重量%より大きい、請求項 1 に記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項 3】

$R_a A$ が $0.7 \sim 7 \text{ nm}$ であり、 $R_a B$ が $2 \sim 20 \text{ nm}$ であり、ポリエステル層 B が不活性粒子を含有している、請求項 1 または 2 に記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項 4】

有機粒子が不活性粒子として含まれている、請求項 3 に記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項 5】

ポリエステル層 A の外側表面に微細粒子を含有する易滑被覆層 C が設けられている、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項 6】

ポリエステル層 B のカルボキシル末端基濃度が $35 \text{ eq} / 10^6 \text{ g}$ より大きい、請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項 7】

ポリエステル層 B の外側表面に被覆層 D が設けられている、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項 8】

ポリエステルがポリエチレンテレフタレートまたはポリエチレン - 2, 6 - ナフタレートである、請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項 9】

デジタル記録方式の磁気テープ用ベースフィルムとして用いられる、請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。